

臨床研究「画像下治療への人工知能を応用に関する研究」について

筑波大学附属病院 放射線診断・IVR科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

人工知能を用いて画像下治療の際に参照する画像を裸眼のまま立体視が可能な画像下治療支援システムを開発すること

② 研究対象者

2013年1月1日から2024年3月31日までに当院放射線診断・IVR科で画像下治療（血管造影を用いた治療）を受けた患者様

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年3月31日まで

④ 研究の方法

1. 過去に撮影された造影CT、コーンビームCT、血管造影下CT、血管造影画像を個人が特定できない形とする。
2. 人工知能に深層学習や転移学習をさせ、立体視可能な画像を作成するシステムを作る。
3. 作成した画像を既存の裸眼立体視モニタに表示させる。
4. 医師がシステムを評価して実際の画像下治療の際に使用可能かどうか検証する。開発中の技術のため、実際の診療には使用しない。

⑤ 試料・情報の項目

年齢、性別、検査データ、画像診断所見、病理所見、上記画像データ

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

本研究は筑波大学情報システム系との共同研究のため情報を共有しますが、学外に持ち出されることはありません。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

森 健作 筑波大学附属病院 放射線診断・IVR科 病院教授

⑧ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学附属病院 放射線診断・IVR科 病院教授 森 健作

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：筑波大学附属病院 放射線診断・IVR科 担当 森 健作

電話・FAX：029-853-3205 メール：labitai@md.tsukuba.ac.jp

対応可能時間 平日9～17時